



「こんにちは 市長です」

11月15日号

ガソリンや灯油の価格が急に上がった。「えっ、165円。そんなのあり?」。安いスタンドを探すといってもそこに行くまでにガソリンを使う。満タンにしなければ割に合わない。ガソリンが上がるということは原油調達価格が上がっているということ、円安もコストを押し上げる。油はものづくりの原点だから何でも上がる傾向になる。今朝のテレビで加工食品が値上げになると言っていた。

コロナで格差は広がり、階級社会といわれる日本になった。暮らしにくい人たちがたくさん出てきている。選挙で各党が共通して公約にしていたのが「お金の支給＝分配」である。一時的であっても格差を縮小させるには良薬になる。選挙結果を前にして書いているのでどんな形になるのか知る由もないが。国は日銀という「印刷機」を持っている。借金をしてそんなに気にする気配はない。それでいいのかもしれない。地方にはそんな武器は持ち合わせていない。国の許可を得て借金して、お金の手立てがなくなれば支出を減らすことになる。あれやこれや考えている矢先、すごい話が舞い込んできた。「子どもたちへの就学援助に使ってください」と、(株)オープンハウスの荒井社長から2億円寄付の申し出があった。ありがたくお受けした。就学援助世帯を対象に小学校入学時に5万7千円、中学校では7万円支給することにした。また値上げなどによる社会的コストを吸収できにくい子どものいる家庭に、一定の援助を行っていきたいと思っている。

10月末の市民税非課税世帯数は2万846までになっている。決して豊かな日本とは言えない。選挙が終わったら新たな政治が始まります。各政党のご活躍に期待しています。

(10/28記)